

会報

明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防本部予防課内)
〒673-0044 明石市藤江924番地の8
TEL(078)918-5272 FAX(078)918-5983
ホームページアドレス: <http://www.akashi-bouka.jp/>



平成28年明石市消防出初式



一月十日(日)午前九時四十五分から市役所周辺で明石市消防出初式が挙行されました。
消防署・消防団の車両五十七台を先頭に、消防吏員、消防団員、自衛消防隊員、婦人防火クラブ員、子ども消防隊員九百二名が入場行進しました。
この日は好天に恵まれ、参加していただいた五十九名の工場部会の自衛消防隊員は、行進曲が会場に響き渡ると、たちまち意気揚々とし、活気に満ちた態勢となって元氣よく堂々と観覧位置へと行進して行きました。
その後の式典は、例年どおり市民会館大ホールで、表彰授与式、市長式辞、

消防長誓いのことば、来賓祝辞、消防団長挨拶、万歳三唱と続き、式典は終了しました。また式典と並行して市民会館西側駐車場の二階において、アトラクションが催されました。
消防車の試乗・放水体験・救助体験・写真撮影コーナーや、当協会所有の濃煙体験テントのコーナーには、親子連れの方を中心にたくさんの方がこられ大盛況でした。
最後に駐車場二階・市役所本庁舎北側において消防救助隊による演技、消防署・消防団による放水演習が行われました。
毎年恒例の一斉放水は、消防団の各分団からの代表班が日頃の成果として可搬式ポンプを使い駐車場から



市役所屋上に向けられて一斉放水が行われ、会場内で見学されていた方々から拍手喝采を浴びました。
なお、式典では防火対象物及び危険物施設の火災予防・保安管理に多大な成果を挙げた事業所並びに永年にわたり火災予防に尽力し、その功労が顕著な事業所が表彰されました。
〔表彰事業所は次のとおりです〕
〔防火管理優良事業所〕
・日工株式会社
・シバタ工業株式会社
・介護老人保健施設 恵泉
〔危険物保安管理優良事業所〕
株式会社 尾上石炭商店



平成27年 火災・救急の統計

平成27年中における明石市内で発生した火災・救急の概要がまとまりました。
平成27年中の火災件数は51件、死者2名、負傷者11名となりました。

火災の概要

●前年度の比較(件数)

区分	平成27年	平成26年
建物	37	44
林野	0	0
車両	1	6
船舶	0	0
その他	13	27
合計	51	77

●出火原因(件数)

区分	平成27年	平成26年
放火・放火の疑い	6	17
たばこ	4	5
こんろ等	9	14
たき火・焼却炉	0	1
火遊び	3	6
電気関係	5	3
マッチ・ライター	3	0
ストーブ	3	2
その他	13	20
不明・調査中	5	9
合計	51	77

救急の概要

●前年度の比較(出動件数)

区分	平成27年	平成26年
急病	8,201	7,984
一般負傷	2,177	1,949
交通事故	1,184	1,087
自損行為	131	155
加害	94	107
労災	71	63
火災	48	45
運動競技	80	54
水難	15	5
自然災害	0	0
転院搬送	1,141	1,129
医師搬送	0	0
その他	279	305
合計	13,421	12,883

火災出動件数は51件(-26件)、死者2人(-1人)、負傷者11人(-7人)でした。建物火災37件、車両火災1件、その他の火災13件となっています。出火原因は、こんろが9件で最も多く、放火・放火の疑いが6件、たばこが4件発生しています。今後も警察や地域の方々と連携し「放火されにくい町づくり」を作っていく必要があります。救急件数は13,421件(+538件)、救急搬送人員は11,416人(+375人)と過去最多を記録しています。救急搬送人員のうち、軽症者が5,804人、中等症者が4,983人、重症者が447人、死亡者が182人となっています。また、65歳以上の高齢者が6,377人搬送され、搬送人員の半数以上を占めています。事故種別で一番多いのは、急病8,201件、次に一般負傷2,177件、交通事故1,184件となっております。

平成二十八年 春季火災予防運動

春季全国火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として毎年、消防記念日を最終とする一週間に実施しています。
防火標語 「無防備な心に火災がかくれんぼ」

実施期間 平成二十八年 三月一日(火)～三月七日(月)

実施要領

- 〔重点目標〕
- 住宅防火対策の推進
 - 放火・放火防止対策の推進
 - 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
 - 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
 - 林野火災予防対策の推進
 - 車両火災予防運動の推進
- 〔推進項目〕
- ①住宅防火対策の推進
 - ア 住宅用火災警報器の設置の徹底、適切な維持管理の周知及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進
 - イ 住宅用火災警報器の交換の推進
 - ウ 住宅用火災警報器の交換の推進
 - エ 住宅用火災警報器の交換の推進
 - オ 住宅用火災警報器の交換の推進
 - カ 地域の実情に即した広報の実施
 - キ 高齢者等の要配慮者の把握や安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進
 - ②放火・放火防止対策の推進
 - ア 放火・放火に対する地域の対応力の向上
 - ③特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ア 防火管理体制(統括防火管理体制)の充実
 - イ 避難施設等及び老朽化消火器を始めとする消防用設備等の維持管理の徹底
 - ウ 防火物品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
 - エ 防火対象物定期点検報告制度及び防火管理点検報告制度の周知徹底
 - オ 違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
 - カ ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底
 - キ 表示制度及び公表制度の取組の推進
 - ク 高齢者や障がい者等が入居する小規模福祉施設における防火安全対策の徹底
 - ケ 有床診療所・病院等における防火安全対策の徹底
 - ④製品火災の発生防止に向けた取組の推進
 - 製品の適正な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報の周知徹底
 - ⑤多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
 - ア 催しを主催する者に対する指導
 - イ ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
 - ウ 火気器具を使用する屋台等への指導
 - ⑥林野火災予防対策の推進
 - ア 林野周辺住民、入山者等の防火意識の高揚
 - イ 火災警報発令中における火の使用制限の徹底
 - ウ 火入れに際しての手続き等の徹底
 - エ 林野所有者等に対する林野火災予防措置の指導の強化
 - ⑦車両火災予防運動の推進
 - 車両火災の防止と被害の軽減についての普及促進及び、鉄道関係者に対する指導

平成27年度 防火ポスター展



福田保育園 年長 川西 結月

明石防火協会賞



大久保北中学校 2年 三田 佑奈

明石市消防長賞



大久保南小学校 6年 丸山 龍之助

明石市長賞



大久保南小学校 2年 井上 将彰

明石市議会賞



大久保北中学校 1年 稲山 莉乃碧

明石市消防団賞



魚住小学校 3年 吉田 海洋

明石市教育賞

防火協会恒例の主催行事として火災予防運動啓発用ポスターの募集を呼びかけたところ、市内の園児から中学生まで六百八十九名の応募がありました。審査は、十月七日(水)に行われ、柴田会長ほか6名の審査員により左記の方々が明石市長賞ほか各賞に選出されました。



出初を写そう!! 写真コンテスト



「親子で脱出」 仙石 一夫

明石市消防団賞



「ちょっぴり怖いでも楽しい」山口 康博

明石市消防長賞



「笑顔の放水」 赤松 博文

明石市長賞



「初めての体験」 高見 弘行

明石防火協会賞



「出初! 安全宣言!」 浜崎 喜美子

明石市議会賞

作品の展示

期間:平成28年2月18日(木)~2月28日(日)まで
場所:明石市防災センター 1階



工場部会と危険物部会の合同による視察研修が平成二十七年十一月二十六日(木)に実施されました。伊津村工場部会長、朝比奈危険物部会長以下二十七名の部会員がご多忙な中参加されました。今回の視察研修先は、神戸市にある川崎重工業(株)西神工場と人と未来防災センターです。川崎重工業(株)西神工場は、極めて高い信頼性や耐久性が求められる航空機ガスタービンエンジンの部品を製造している工場で、「労働災害ゼロ運動」はもとより、「ボカミスゼロ運動」などにより品質管理が徹底され



工場・危険物部会合同視察研修



ており、消防用設備等も適正に維持管理され、防火管理体制についてもしっかりと構築されていました。人と未来防災センターでは、今年で二十年目となる兵庫県南部地震について、改めて当時の教訓を学ぶとともに、東日本大震災からの復興状況についても学び、地震災害による防火、防災体制のより一層の取り組みを推進する必要性を感じさせられました。

秋季火災予防運動中の十一月十一日(火)、明石市消防本部訓練場において自衛消防隊訓練指導会が開催されました。この運動期間中の取り組み事業の一つとして、事業所の従業員で構成する自衛消防隊員の指揮能力及び活動能力の向上を図るとともに、訓練の技法、組み立て方を習得することを目的とし、工場・危険物・特防・旅館ホテル・医療福祉部会に分かれ、部会ごとの訓練想定による訓練を実施しました。市内事業所より百二十九名が参加し、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮していました。



自衛消防隊訓練指導会

